

# 伊万里 市議会だより

IMARI SHIGIKAI NEWS

令和5年8月  
No.86



イマリンビーチ海開き(黒川町)

※令和5年第3回定例会は、9月1日(金)開会予定です。

●お知らせ…………… P2～4  
●常任委員会…………… P5～7

●一般質問 …………… P8～15  
●特集：会派紹介 …………… P16

市議会のホームページは「伊万里市議会」で検索、または右のQRコードからご覧ください。



# 議長就任あいさつ

議長 中山 光義

この度、先の市議会選挙後の臨時会において議長に就任いたしました。

議長職の責任の重さを改めて痛感するとともに、市民生活の向上、福祉の向上のため誠心誠意努める所存であります。

さて、私は所信表明において「議論なくして最善の施策なし」と述べました。議会は申すまでもなく言論の府であります。議員間で議論を深め、闊達な議会を目指したいと考えています。

今回の改選においては新人議員8名が当選し、そのうち2名が女性であります。

全国的に議員のなり手不足が叫ばれている中、本市においては喜ばしい限りであります。今回初当選されました一期生も臆することなく、市民の代表として発言できる議会の環境、雰囲気づくりに努め、市民皆様方の負託に応える議会を目指したいと考えています。

何卒、皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



力武監査委員 中山議長 加藤副議長

## 全国市議会議長会表彰

議員表彰  
20年以上



前田 久年 議員



樋渡 雅純 元議員

正副議長表彰  
4年以上



盛 泰子 議員



坂本 繁憲 議員

## 第1回 臨時会 令和5年5月22日(月)～23日(火)

上程された議案は、すべて可決および同意しました。

|             |       |                  |
|-------------|-------|------------------|
| 令和5年度一般会計予算 | 5月補正額 | 1億3,136万1,000円   |
|             | 予算総額  | 321億4,134万8,000円 |

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、肉用牛肥育農家の生産費にかかる経費を支援するため、学校給食費の値上げ分を補助するため、増額しました。

- 議会選出監査委員の選任について同意しました。 力武勝範監査委員

## 第2回 定例会 令和5年6月12日(月)～30日(金)

上程された議案は、すべて可決および同意しました。

|             |       |                  |
|-------------|-------|------------------|
| 令和5年度一般会計予算 | 6月補正額 | 5億440万3,000円     |
|             | 予算総額  | 326億4,575万1,000円 |

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者を支援するための各事業、行政サービスにおける市民の利便性向上のために「書かない窓口」のシステムを導入するための経費、東陵中校区小中一貫校の整備に伴う留守家庭児童クラブの整備に要する経費等のため、増額しました。

### 一部事務組合等構成議員の紹介

#### ● 伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員

中山 光義 加藤 奈津実 木寺 智子 川添 智徳 松尾 真介 香月 孝夫

#### ● 伊万里・有田衛生組合議会議員

中山 光義 児玉 不二子 松尾 伸人 山口 常人 梶山 太 井手 勲

#### ● 伊万里・有田消防組合議会議員

中山 光義 加藤 奈津実 力武 英一郎 西田 晃一郎 力武 勝範

#### ● 佐賀県西部広域環境組合議会議員

加藤 奈津実 前田 邦幸

#### ● 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員

前田 邦幸

一部事務組合とは、  
地方自治法284条第2項の規定により  
設置される、複数の自治体が行政サービスの  
一部を共同で行うことを目的として  
設置する行政機関です。

### 暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、初盆参りや地区の祭りへ会費以外の金品を持参することは禁止されていますので失礼します。どうかご理解いただきますよう、お願いいたします。

議員一同

### 議会運営委員会

議会を円滑かつ効率的に運営するため、地方自治法に基づき設置します。①議会の運営に関する事項、②議会の条例等に関する事項、③議長の諮問に関する事項について協議します。

- 委員長 西田晃一郎
- 副委員長 盛 泰子
- 委員 林 博幸 木寺 智子
- 力武 勝範 前田 邦幸
- 井手 勲



### 広報広聴委員会

議会だよりの編集及び発行、議会のホームページ、議会報告会及び市民との意見交換会の企画、その他議会の広報及び広聴に関することを行います。

- 委員長 加藤奈津実
- 副委員長 力武英一郎
- 委員 金原 晋作 塚本 博幸
- 木寺 智子 児玉不二子
- 力武 勝範



### 市民会館跡地検討特別委員会

市民会館跡地の利活用について、調査・検討・提言を行います。

- 委員長 井手 勲
- 副委員長 力武英一郎
- 委員 金原 晋作 林 博幸
- 川添 智徳 児玉不二子
- 西田晃一郎 山口 常人
- 前田 邦幸 香月 孝夫



### 議会活性化特別委員会

議会のより良いあり方について調査・研究し、活性化へ向けた検討・提言を行います。

- 委員長 前田 久年
- 副委員長 力武 勝範
- 委員 加藤奈津実 塚本 博幸
- 木寺 智子 松尾 伸人
- 坂本 繁憲 松尾 真介
- 梶山 太 盛 泰子



## 書かない窓口支援システム導入業務

市役所窓口の各種手続きにおいて、これまでは来庁者が申請書に手書きしていたものを、マイナンバーカードや運転免許証に格納されている氏名や住所等の情報を専用端末で読み取るとともに、職員が来庁者から聞き取った補足情報を入力することで、自動で申請書を作成できるシステムをデジタル田園都市国家構想交付金を活用して導入します。

### ○効果

- 手書きによる申請書作成に対する来庁者の負担が軽減されます。
- 複数の申請書が必要な場合でも一度に作成できます。
- 記入漏れや書き損じがなく正確な情報で受け付けができるため、受付時間及び窓口滞在時間が短縮されます。

運用開始予定:令和6年3月

## 森林環境税(国税)の導入

令和6年度から個人を納税義務者として課される新たな国税で、市が個人納税と合わせて年額1,000円を徴収し、国に納付します。そして、それを財源に、国が森林環境譲与税として市町村、都道府県に譲与します。

なお、森林環境税の導入により、東日本大震災復興関連の特例法により臨時徴収していた年額1,000円(市民税500円、県民税500円)の特例加算は令和5年度で終了します。

- 森林環境税創設の趣旨は、森林を荒廃から守るために、毎年国から地方自治体に配布される森林環境譲与税の財源を確保するためです。
- 森林環境譲与税は、間伐の実施などによる森林の整備・保全、所有者不明の森林の管理、林業従事者の育成・指導などの用途に充当されます。

### ■質疑

森林環境譲与税は、都心部等人口は莫大で森林などほとんどない所に配分され、森林は豊富にあるが人口の少ない過疎地の山村への配分が少なくなっているのではないかと。

### ■回答

運用や分配に問題点があることは把握しているが、国税であるため市としては答える立場にない。

## 第2次伊万里市 プレミアム付商品券発行事業

食料品価格等の物価高騰の中、市民の消費生活を下支えし地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行します。

- 1セット(5,000円分)を4,000円で販売

### ●【商品券構成】

地元応援券3,000円(市内に本社を有する店舗)  
共通券2,000円(市内で営業する店舗)

### ●【発行数】

紙商品券40,000セット(額面総額2億円)  
電子商品券20,000セット(額面総額1億円)

使用期間:令和5年11月1日～

令和6年1月31日(予定)

### ■質疑

今回、初めて電子商品券が発行されるが、どのような使い方を想定しているか。

### ■回答

取扱店舗に設置されるQRコードをモバイル端末(スマートフォン等)の専用アプリ画面から読み込み、使用金額を入力し1円単位で決済処理することを想定している。

## 母子健康手帳アプリ導入業務

子育て情報の配信、成長記録の管理、妊産婦・乳幼児相談などのオンライン予約など、子育て世代を継続的にサポートできる母子健康手帳アプリを、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して導入します。

### ○効果

- 定期検診や予防接種などの情報を適切な時期に提供でき、未受診や未接種防止を図ることができます。
- 子どもの成長状況を家族で情報共有でき、家族の子育て参加を促すことができます。

運用開始予定:令和5年12月



## 【条例改正】 黒川児童クラブ

これまで黒川小学校内の2施設で行っていた留守家庭児童クラブを統合し、昨年度末に閉園した黒川幼稚園園舎を児童クラブとして位置付けるための改正案です。(令和5年度当初予算でトイレ改修済)

現地を視察したところ、クラブとして使用する予定の遊戯室などの床にきしみが生じており、再点検の必要があると判断しました。(その後、専門業者による点検の結果、「『利用上の安全性に問題はない』』との回答を受けたため、当初の予定通り夏休み初日から旧幼稚園園舎で開設する」との報告が教育委員会からありました)。

また体調の優れない児童が休養するスペースや、支援が必要な児童のための場所の確保について要請すると共に、2カ所あるトイレは、男女別々とすることを確認しました。

## 松浦健康増進施設利用負担金

本年4月、松浦コミュニティーセンター横にオープンしたこの施設は、ごみ処理を共同で行っている佐賀県西部環境組合が運営しており、1回の利用料は一律大人100円、小人50円(幼児以上高校生以下)となっています。今回の予算は、昨年猛暑の時期などに市民センターで行った子どもの遊び場のような位置づけとし、伊万里市民は年齢に関係なく無料で利用できるようにする内容です。

施設を視察し、関係者等と意見交換しました。

①3台設置されているトレーニング室の機器は少し高度なため、高齢者でも簡単に利用できるような機器が必要との認識であり、今後揃えていく予定。



②キッズルームも小さなボールプールと滑り台などの複合遊具などがあるだけなので、今後アンケートをとって増やしていく。

なお平日は13時からの開館となっているため、特に夏などは午前中からの開館を検討すべきではないかとの意見がありました。

※予算の積算根拠：2千円(4時間を超える場合の貸切料金)×213日分

令和5年7月1日～令和6年3月31日の休館日を除く



補正予算：46万2千円

## いじめ・教育相談事業

スクールカウンセラーについては、当初予算で560時間分が確保されていましたが、県補助の増加により660時間分となりました。児童生徒からのみならず教員や保護者からの相談も多く、増加したとはいえ充足している状況にはなく、教育長会などからも毎年県へ要望が出されているとのこと。今後、委員会から県への意見書等を出すなど、力を添えたいと考えています。

補正予算：57万円

## 所管事項調査

- 保育園民営化の経緯と現状
- 留守家庭児童クラブの状況



(委員長)盛 泰子 / (副委員長)梶山 太 / 木寺 智子 / 児玉 不二子 / 西田 晃一郎 / 松尾 真介 / 前田 久年

## 活気あふれる農業経営に向けて

### 【産地生産基盤パワーアップ事業】

予算額：(県) 1,597万6千円

国産麦の増産に取り組む農家の環境整備のため、麦生産者に対し、生産拡大に必要な機械・施設の導入に必要な経費を補助します。

## 原油・物価等高騰対策支援

### 【水稻営農物価高騰対策支援事業】

予算額：1,374万8千円

原油価格や物価高騰の影響を受けている水稻耕作農家の経営回復を図るため、生産にかかる経費を支援します。

- 支援対象：水稻（主食用米）の作付面積が11a以上の市内農家
- 支援金：10a当たり1,200円

### 【第3次施設園芸等燃料高騰対策支援事業】

予算額：669万9千円

原油価格や物価高騰の影響を受けている施設園芸農家の経営回復を図るため、燃料の購入にかかる経費を支援します。

- 支援対象：加温栽培を行う市内施設園芸農家  
茶加工を行う市内茶農家
- 対象燃料：A重油、灯油、LPガス

## 更なる安全・安心な公共施設に向けて

### 【公園施設等改修事業】

予算額：319万8千円

公園施設等のトイレの衛生環境改善と危険性の除去を図るため、落下式トイレの簡易水洗化や洋式化など、改修等のための実施設計を行います。



東山代運動広場トイレ現地視察

## 高速バス「いまり号」の利便性向上

### 【高速バス「いまり号」再構築(直行便新設)支援事業】

予算額：585万円

昭和自動車株式会社が行う、アフターコロナに向けた高速バス「いまり号」の再構築の取り組みに要する経費を補助します。

#### 質疑

伊万里市の税金を使って補助をするのであれば、伊万里市民を全て乗せてから高速に乗れるよう、伊万里沼引インターからではなく、伊万里ふるさと村を経由して南波多谷口インターから高速に乗るべきだと思うが。

#### 回答

そのことについてももちろん協議したが、昭和自動車としては今回は時間短縮を優先したいとのこと。試験運行の際は無理という回答だったが、本格運行の際には交渉の余地があると思っている。

#### 意見

高速バス「いまり号」再構築(直行便新設)支援事業については、試験運行の動向を見ながら、本格運行の際には伊万里ふるさと村を経由するよう再度協議すること。



# 一般質問 (質問順)

| 議員名   | 質問事項   |
|-------|--|
| 塚本 博幸 | <p><b>1.国道204号黒塩交差点について</b><br/>                     (1)交通量調査結果<br/>                     (2)今後の道路整備方針<br/>                     (3)渋滞緩和策</p> <p><b>2.農業を取り巻く環境整備について</b><br/>                     (1)人・農地プランの令和4年度までの活動総括<br/>                     (2)今後の取り組みについて</p> <p><b>3.いまり夢みさき公園・イマリンビーチ周辺の整備について</b><br/>                     (1)イマリンビーチへの進入路の整備計画<br/>                     (2)いまり夢みさき公園の整備計画<br/>                     (3)海に親しむ公園等の整備</p> |
| 木寺 智子 | <p><b>1.学校給食について</b><br/>                     (1)アレルギー対応の開始時期について<br/>                     (2)アレルギー対応の範囲について<br/>                     (3)アレルギーではない児童、生徒のアレルギー対応</p> <p><b>食選択について</b><br/>                     (4)牛乳を飲むか、飲まないかの選択について<br/>                     (5)オーガニック給食について<br/>                     (6)市長の考え</p>   |
| 松尾 伸人 | <p><b>1.SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を成功に導く準備状況について</b><br/>                     (1)市職員の体制について<br/>                     (2)選手・関係者の受け入れ態勢について<br/>                     (3)競技場等の状況について<br/>                     (4)市民への大会の周知の状況について<br/>                     (5)大会を通じた伊万里市のPR戦略について<br/>                     (6)国スポ・全障スポに対する市長の思い</p>   |
| 金原 晋作 | <p><b>1.大坪小学校及び大坪小学校周辺の整備について</b><br/>                     (1)都市計画道路・大坪小学校線の見直しの検討業務の結果<br/>                     (2)通学路対策<br/>                     (3)陣内白野線の信号機の設置について<br/>                     (4)防災対策<br/>                     (5)大坪小学校旧第3棟舎及び資料館について<br/>                     (6)市長の考え</p>  |
| 林 博幸  | <p><b>1.工業用水道の確保について</b><br/>                     (1)企業の利用状況について<br/>                     (2)㈱SUMCOの久原工場増設に伴う第4工業用水道の状況について<br/>                     (3)水資源開発可能性調査の結果と今後の取り組みについて<br/>                     (4)市長の考えについて</p> <p><b>2.農福連携について</b><br/>                     (1)市内の就労継続支援事業所の状況について<br/>                     (2)市内の農業分野での労働力の状況について<br/>                     (3)県内の農福連携の取り組み状況について<br/>                     (4)市の今後の取り組みについて</p>    |
| 加藤奈津実 | <p><b>1.いまり保育園について</b><br/>                     (1)これまでの経緯<br/>                     (2)園が抱える現状と課題<br/>                     (3)園舎建て替えの計画について</p> <p><b>2.いまり夢みさき公園について</b><br/>                     (1)サウンディングについて<br/>                     (2)今後の活用について</p>  |
| 前田 邦幸 | <p><b>1.4月の選挙について</b><br/>                     (1)投票率等の評価について<br/>                     (2)選挙の費用について<br/>                     (3)選挙の投票時間の繰り上げについて</p> <p><b>2.少子化対策及び子育て支援について</b><br/>                     (1)伊万里市における少子化の現状<br/>                     (2)学校給食費の無料化<br/>                     (3)今後の少子化対策と子育て支援の施策</p>   |

| 議員名   | 質問事項  |
|-------|---|
| 盛 泰子  | <p><b>1.危機管理について</b><br/>                     (1)福祉避難所のあり方<br/>                     (2)災害時における医療的ケア児への対応<br/>                     (3)原発事故時の避難先アンケート結果を受けて</p> <p><b>2.市民センターについて</b><br/>                     (1)文化ギャラリー 備品の状況</p>  |
| 香月 孝夫 | <p><b>1.市民が集う「いまり秋祭り」について</b><br/>                     (1)昨年度の開催における取り組み成果<br/>                     (2)開催時の問題点や課題<br/>                     (3)新たな取り組み(関係人口・交流人口拡大等)に向けて</p> <p><b>2.市内中心部の空き家・空き地について</b><br/>                     (1)市内中心部における空き家・空き地の現状<br/>                     (2)問題点と課題<br/>                     (3)空き家・空き地の利活用について</p>  |
| 坂本 繁憲 | <p><b>1.高等教育機関の誘致について</b><br/>                     (1)誘致要望の取り組み状況<br/>                     (2)高専設立と大学誘致<br/>                     (3)市長の思い</p> <p><b>2.教員の職場環境について</b><br/>                     (1)小学校教員採用試験倍率<br/>                     (2)教員の残業代<br/>                     (3)処遇改善<br/>                     (4)学校統合</p> <p><b>3.「道の駅伊万里」再生について</b><br/>                     (1)来場者の推移<br/>                     (2)JAとの協議<br/>                     (3)市長の考え</p> |
| 力武 勝範 | <p><b>1.持続可能な農業政策について</b><br/>                     (1)農地の集積集約化<br/>                     (2)新規就農支援<br/>                     (3)人・農地プラン<br/>                     (4)今後の持続可能な農業政策</p> <p><b>2.ICT教育の進捗状況について</b><br/>                     (1)タブレット端末等の利活用状況<br/>                     (2)校務支援システム</p>   |
| 児玉不二子 | <p><b>1.带状疱疹ワクチンについて</b><br/>                     (1)伊万里市における、带状疱疹発症の実態把握とワクチン接種に関する動向把握<br/>                     (2)他自治体の公費助成の状況<br/>                     (3)伊万里市民に対する带状疱疹に関する情報発信と啓発 ワクチン接種推奨に向けた取り組み<br/>                     (4)今後の持続可能な農業政策</p> <p><b>2.熱中症対策について</b><br/>                     (1)熱中症対策について<br/>                     (2)国見台体育施設での熱中症対策<br/>                     (3)冷水機の設置状況</p>  |
| 川添 智徳 | <p><b>1.学校について</b><br/>                     (1)給食費の助成事業<br/>                     (2)通学路の安全対策</p> <p><b>2.散弾銃射撃場の鉛問題</b><br/>                     (1)現在の進捗状況<br/>                     (2)予算の積算根拠<br/>                     (3)今後の計画方針</p>   |







## 国道204号黒塩交差点について

塚本 博幸

**質問** 昨年8月、渋滞緩和策として進めてきた七ツ島大橋が開通した。その後の渋滞は従前と変わらないが。

**答弁** 建設農林水産部長

伊万里団地内の工場増設工事等で関係車両が増え、渋滞解消に至っていない。

**質問** 恒久対策は現在進行中の4車線化の完成であるが完成までの間、暫定対策が必要ではないか。

**答弁** 建設農林水産部長

渋滞緩和策は最重要課題として捉えている。

今後、事業主体の伊万里土木事務所、黒川町区長会と連携して協議していく。

## 農業を取り巻く環境整備について

**質問** 農業従事者の道標である「人・農地プラン」の現状と今後の進め方は。

**答弁** 建設農林水産部長

145地区のうち、50地区のプランを作成した。本年4月に農業経営基盤強化促進法が改正され、新たに「目標地図」の策定が法定化された。

今後、令和7年3月末までに145地区と協議を行っていく。

## 公園・ビーチ周辺の整備について

**質問** SAGA2024国スポ・全障スポ大会を1年後に控え、会場への進入路の整備計画は。

**答弁** 総合政策部長

樹木の伐採・防護柵等の整備を、地元と連携しながら推進していく。

**質問** いまり夢みさき公園に整備が予算化されている。その整備計画は。

**答弁** 総合政策部長

幼児用複合遊具を全ての人が楽しめる、インクルーシブ遊具を新たに3基同一エリアに追加する。

**質問** 今年度事業概要に「海に親しむ公園」が示されている。その概要は。

**答弁** 総合政策部長

現時点、構想の段階で具体的な整備計画はないが、今後、マリンレジャーの観点も加味しつつ、管理者である伊万里土木事務所と協議していく。



## 学校給食について

木寺 智子

**質問** アレルギー対応はいつから始まるのか。

**答弁** 教育部長

対応するアレルギーの原因となる物質(アレルゲン)の選定やソフト面の整備も含め、来年度からの実施に向け現在慎重に進めている。

**質問** アレルギー対応の範囲について。アレルゲンはどの範囲での対応になるのか。

**答弁** 教育部長

アレルゲンの選定については、様々な調査をし、対応すべきアレルゲン等を検討。調査結果を基に今後県内の実施状況を確認し、保護者を含めた話し合い等を経た上で決定する。

**質問** 食のこだわり等でのアレルギー対応食の選択や、弁当持参を選択することは可能か。

**答弁** 教育部長

アレルギー対応食提供は、医師が作成する学校生活管理指導表の提出を基に決定する。それ以外の要望で対応食を提供することはない。

また弁当持ち込みについては、学校給食の役割を効果的に発揮させるためにも、従来通り栄養士が作成したバランスのとれた献立の給食を食べさせる必要があるので実施する考えはない。

**質問** アレルギーではないが、牛乳を飲むとおなかを壊す等の症状が出る子どもが増えてきている。その場合、飲まない選択は可能か。

**答弁** 教育部長

その症状を「乳糖不耐症」といい、牛乳の提供を停止した場合の年度末の給食費返還の対象になるので、診断書を添えて申請すれば対応可能。

**質問** 近年、全国的に給食をオーガニック(有機)給食にする活動が広がっている。市内の有機栽培農家の方々は、点在する有機農家を集めていずれ給食をオーガニックにと強く願っておられる。環境保全に加え、給食に特色を持たせることで子育て世代の移住にも繋がりたい。長い目で見て、地産地消オーガニック給食提供は可能か。

**答弁** 教育部長

現在、地産地消で多品目の質の安定した有機食材を大量に納入することは難しいと判断しているので、実現は困難。



## SAGA2024国スポ・全障 スポへ向けて

松尾 伸人

**質問** 市職員の体制について。

**答弁** 教育部長

令和2年から推進室2名で準備を始め、その後、国スポ・全障スポ課として、現在は11名の体制。その他、昨年8月から市長をトップとした庁内推進会議を立ち上げ、現在は実施本部へ移行。

職員の動員予定は、今年のリハーサル大会が、延べ649名、来年の本大会は、延べ972名の見込みで、現在、市HP等で、一般ボランティアも募集中である。

**質問** 選手・関係者の受け入れ態勢について。

**答弁** 教育部長

オープンウォータースイミング177名、ビーチバレーボール296名、ホッケー633名、軟式野球172名、フライングディスク約800名の選手・関係者の来伊を見込んでおり、県の配宿計画、輸送計画に基づき、実際の出場チームとの詳細調整を進める。

駐車場については、会場間のシャトルバスの運行等を含めて、対応にあたる予定。

**質問** 競技場の改修状況については。

**答弁** 教育部長

ホッケー会場の人工芝化、国見台照明のLED化等、改修は完了しているが、今後、必要な備品等の整備を進めていく。

**質問** 市民への大会の周知状況は。

**答弁** 教育部長

広報、HP、SNS、各所へののぼり旗、公共施設への横断幕を設置。学生の観戦推奨についても、学校への観戦計画の確認を行う等の対応を実施して、推進していく。

**質問** 大会を通じた伊万里市のPR戦略は。

**答弁** 教育部長

選手への観光パンフレット等の配布、案内所、特産品コーナーの設置、各チームの連絡員を配置して、市のPRを含めた「おもてなし」を行う。

**質問** 国スポ・全障スポに対する市長の思いは。

**答弁** 市長

大会成功はもちろん、来場された方が「また伊万里に来たい。」という思いを持って帰って頂ける様な大会、観戦した子ども達も含めて、みんなの記憶に残る様な大会にしていきたい。



## 大坪小学校周辺の整備 について

金原 晋作

**質問** 長期未着手である都市計画道路・大坪小学校線南工区の見直し検討業務の結果は。

**答弁** 建設農林水産部長

今年度は都市計画道路見直し検討業務の最終年となっており、大坪小学校線南工区については存続候補となっはいるが、7月に区長会にて検証結果の説明を行い、8月にパブリックコメント、そして年度内には都市計画の変更等の決定を行う。

**質問** 陣内白野線と大坪小学校線との交差点を通過して登下校している児童生徒は大変多いので、安全確保のため、早期に信号機を設置できないか。

**答弁** 総務部長

こちらの信号機については、令和2年から継続的に公安委員会に要望書を提出しているが、未だに採択には至っていない。この信号機の優先順位は市内2位であり、引き続き要望していく。

**質問** かなり老朽化の激しい大坪小学校旧第3棟舎及び資料館の近くを、児童が通行しているため、倒壊の危険性の観点からと駐車場確保のため、そして美観を損ねているため解体できないか。

**答弁** 教育部長

旧第3棟舎については現在、学校用品及び学校以外の用品を収容する倉庫として利用しており、新たな倉庫を建てる必要性から当面は倉庫として利用する。

資料館については寄贈者の家族の意向を確認し、解体後の用途は学校や地域の意向をお聞きしながら検討していく。





## 工業用水道の確保について

林 博幸

**質問** (株)SUMCO久原工場増設に伴い第4工業用水道の利用水量が増えると考えられるが、現在給水能力85%の給水を行っている中、日量25,000m<sup>3</sup>で今後対応できるのか。

**答弁** 上下水道部長

ご質問の企業とは、定期的に会議や情報のやり取りを行っている。工場増設に伴う給水については、久原浄水場の施設能力の範囲内で対応できるものと考えている。

**質問** (株)SUMCO久原工場の増設に伴い、工業用水の余剰水が少なくなることから、昨年度水資源開発可能性調査を実施されているが、その結果と今後の取り組みは。

**答弁** 総合政策部長

調査の結果、山代町の佐代川流域など数か所を対象として選定し、ある程度の水量を確保できるのではないかとの見込みを立てている。今後は、年間を通じて水量を確保できるのかなどを見定めるため、月2回程度現地で水量観測を実施していく。この観測調査を踏まえながら、工業用水の水資源の開発について、費用対効果も含め検討していく。

**質問** 浦ノ崎の埋立地に企業誘致を行う上では、工業用水道のインフラも同時に整えておく必要があるが、今後の取り組みは。

**答弁** 市長

工業用水道は必要とは考えるが、整備には長年の時間と多大な予算を伴うものであることから、県での整備をお願いできないかと考えている。

### ★農福連携について

**質問** 農業分野と福祉分野がWin-Winになる農福連携の取組が県内でも広がっているが、市の今後の取り組みは。

**答弁** 建設農林水産部長

他市町の事例を調査・研究した上で、市内の障がいのある方々の意向を把握しながら、農福連携の可能性について、県やJA伊万里など関係機関と協議を重ねていく。

★「農福連携」…障がい者が農作業の一部を担うなど、農業分野での活躍を通じて、農業分野(人手不足)と福祉分野(社会参加、工賃アップ)双方の課題解決につなげる取り組み。



## いまり保育園の移転先今年度中の決定を

加藤 奈津実

**質問** 令和4年4月に公私連携型保育所として民営化したいまり保育園は、老朽化、駐車場不足、安全面など様々な問題を抱えており、現地建替えは困難とされている。市と運営法人の協定には5年という建替えの期限があるが、今後の予定は。

**答弁** 健康福祉部長

期限までに施設整備を完了するためには、今年度中に整備場所を決定する必要がある。場所が決定すれば、基本設計等に入りたいと考えている。

**質問** 移転先候補の市民会館跡地について、現状その是非を判断する材料がないので、周辺施設の再配置も含めたイメージ図が必要と考えるが。

**答弁** 総合政策部長

イメージを共有して議論することは大事。議会でも特別委員会が設置されたので、その提言も参考にしながら合意形成を図りながら、複合施設の機能を明確にして具体的な図面等を描くことになると考えている。共有時期について検討していく。

### 公園と湾岸エリアの一体開発を

**質問** 令和3年に行った、いまり夢みさき公園の利活用促進に関する調査の結果は。

**答弁** 総合政策部長

5つの事業者と意見交換を行い、様々な提案を頂いた。公園だけでなく周辺の市場ニーズ、景観や立地等にも高い評価を頂き、この周辺一帯のポテンシャルの高さを改めて認識した。

**質問** いまり夢みさき公園の奥「夕照の古場」エリアと、福田マリーナ予定地とされている湾岸の県有地は、もっと活用できる可能性を秘めている。都市公園法と港湾法の改正があり、市の財政負担を減らし、民間の力を活用し、利用者の満足度を向上させることが可能な新たな制度ができています。これを活用して県と共に一体開発をしては。

**答弁** 総合政策部長

有効な手段であり、十分に検討すべきものと捉えている。将来にわたってこの公園の活用の幅を広げていくことを検討するにあたっては、様々な視点からの選択肢を探る必要があり、周辺一帯の利活用も含めて検討すべきと考えている。県と連携した取組について、県の担当部署に対してこれまで以上に提案をして十分に協議していきたい。



## 4月の選挙について

前田 邦幸

**質問** 投票率等の評価についてと、期日前投票人数と投票率は。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

今回の市議選は前回と比べ2.14ポイント低下しており、投票率の低下は本市のみならず全国的な課題。今回の期日前投票人数は7,968人で割合は31.08%となり、3人に1人に増えている。

**質問** 投票時間の繰り上げについて、仮に2時間繰り上げて午後6時までとした時の経費節減は。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

21投票所と本部の人件費は235名で約560万円であり、2時間繰り上げた場合は約488万円で72万円の節減となる。

**質問** 武雄市、多久市、鹿島市などが午後6時までの投票時間の繰り上げをしているが、本市では考えていないのか。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

有権者の皆さんからの意見もあることから、市民アンケートを今月から7月に実施する。方向性を年内に選挙管理委員会で判断する。

## 少子化対策・子育て支援について

**質問** 本市の出生率及び出生数と、子育て支援の主な取り組みについて。

**答弁** 健康福祉部長

合計特殊出生率の人口を保つ水準は2.07%以上必要と言われている。平成29年は2.02%で、令和2年は1.80%。出生数は平成29年は467人で、令和4年は370人。

子育て支援の主な取り組みは「経済的支援」「サービス支援」「相談体制」の3項目。

**質問** 病後児保育室すこやかなの閉所時間を延長できないか。

**答弁** 健康福祉部長

利用者の方々のご意見をお聞きしたい。

**質問** 子どもを増やす施策として、第3子以降の給食費の無料化ができないか。

**答弁** 教育部長

給食センター改修工事費用で、今後15年間1億強の新たな負担が必要。現状では難しい。



## 災害時の避難について考える

盛 泰子

**質問** ①福祉避難所の位置づけはどうなっているか。そのうち、県立高校等の避難所は日ごろ市職員にとってなじみがないので、開設訓練が必要ではないか。発電施設がある福祉避難所はどの程度あるのか。②医療的ケア児の避難訓練を。③市民団体が行った原発事故時の避難先自治体アンケートの結果(佐賀新聞2023年5月26日記事)をどう見るか。

**答弁** ①、②健康福祉部長、③総務部長

①高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児など何らかの特別な配慮が必要な方のための福祉避難所として、老人福祉センターや旧山代老人憩の家などの公共施設の他、県立高校・特別支援学校、民間事業所などを指定している(市HP、市広報令和5年6月号参照)。しかし災害時にはまずは身の安全を守るため、近くの指定避難所へ。その後、避難が長期化するような場合に、保健師などが状況に応じて振り分け、二次避難所へ行っていただくように位置付けている。県が整備している県立学校の避難所については設置訓練を行ったことはなく、今後検討する。発電施設があるのは県立学校と1事業者のみ。医療機器に使えるかどうかは不明。②小学校に在籍する2名は学校の避難訓練には参加しているが、在宅時の訓練についても関係機関と協議したい。③アンケートへの回答の中には、すでに国から示されている内容について「知らない」との回答もあるため、避難先自治体にもっと理解を深めてもらう必要があると感じた。今回申し入れも行ったが、さらに課題が見えたら、これまで以上に情報共有を進めるよう県へ市から働きかける。

## 文化ギャラリーの備品整備

**質問** 市民センターは開館後30年を超えているが、どのような改修を行ってきたか。

**答弁** 総務部長

舞台装置や音響の更新、LED化、トイレの洋式化、空調の個別化などを行ってきている。

**質問** 文化ギャラリーでの絵画・書道・写真展にお邪魔したが、作品の素晴らしさに対してパネルや壁の傷み方がひどい状況にあった。「文化ギャラリー」の名に相応しい環境にしてほしい。

**答弁** 市長

センター長に総点検を命じた。事業費にもよるが、順次やるのか、または全体的にできるならやっていきたい。



## 市民が集う『いまり秋祭り』 について

香月 孝夫

**質問** 令和4年の来場者数及びその取り組み。

**答弁** 市民交流部長

各種広報誌や観光協会HP、又ケーブルテレビ等を通じ広く集客活動を行い、3年ぶりの開催となったが約10万人の来場者で賑わった。

**質問** 近年の来場者数推移（5年分）。

**答弁** 市民交流部長

平成28年29年共に5万人、平成30年9万人、令和元年10万人、令和4年10万人。

**質問** 祭り開催時駐車場不足の声があったが。

**答弁** 市民交流部長

借地借入が出来なかった点により駐車場不足を生じたが、その後の行事でそれは改善された。

**質問** 更なる関係・交流人口拡大を目指し「いまり秋祭り」の開催期間を3日間に延長しては。

**答弁** 市長

今後については考えていきたい。

## 市内中心部の空き家について

**質問** 伊万里地区における空き家と空き地の現状について。

**答弁** 建設農林水産部長

伊万里地区内26行政区における空き家件数130件。空き地については未把握。

**質問** 空き家問題の解決の課題は。

**答弁** 建設農林水産部長

基本的には所有者や相続人などが所有者意識を持ち、自らの責任において適切に管理するか利活用を検討して頂く必要がある。

**質問** 空き家の利活用策について。

**答弁** 建設農林水産部長

基本的には所有者や相続人などが所有者意識を持ち、自らの責任において適切に管理するか利活用を検討して頂く必要がある。

**質問** 市有財産（市民会館跡地・伊万里駅前開発）の効果的な活用と併せた地域活性化について市長の考えは。

**答弁** 市長

空き家については各種支援制度の利用推進、企業委託型地域おこし協力隊による新たな活用策提案、空き店舗を活用した出店者への支援補助制度を新設するなど空き家の利活用を推進している。議員からも地域活性化に向けた提案を希望する。



## 高等教育機関の誘致

坂本 繁憲

**質問** プロジェクト推進課設立と取組みの経緯と現状、今後のスケジュールについて。

**答弁** 総合政策部長

全国の大学、短大、高専などの高等教育機関を対象に、新規立地の意向や立地条件に関する立地可能調査を行い、調査の結果を踏まえた上で、県立大学以外の高等教育機関の誘致にも並行して取り組んでいく。

**質問** 高専の設立と大学誘致に向けた考え。

**答弁** 総合政策部長

半導体企業や造船業、IT関連企業など、産学連携の実践的な教育が可能な企業が多く立地する本市の地域特性は、強いアピールになると認識している。

市として高等教育機関の誘致にあたり、県立大学に限定することなく高専や専修学校など、あらゆる可能性を探ることとし、市長の政策の柱である「子育て・若者成長応援パッケージ」を構成する重要な要素として、大学等の高等教育機関の誘致、そして、地域の企業が必要とする理系人材の確保を位置付け、議会と「伊万里市高等教育機関誘致推進協議会」と連携して一丸となって取り組んでいく。

**質問** 市長の思いについて

**答弁** 市長

可能性に満ちた若者が伊万里で学び、生涯にわたって伊万里で活躍できるような環境を実現させるためにも高等教育機関の誘致に邁進していく。





## 持続可能な農業政策について

力武 勝範

**質問** 持続可能な農業政策として施設園芸の新規就農者の増加を図る必要がある。今後広く新規就農者を募集するためには、移住定住サイトにおける積極的な就農情報の発信が必要であるが、近隣市町と比べ情報が少ないのではないか。

**答弁** 建設農林水産部長

今後担当課と協議し、必要な情報が新規就農を希望する人に届くよう情報発信に努める。

**質問** 新規就農者の育成として、他市ではトレーニングファームを設置し、積極的に新規就農者の育成を図られているが、伊万里市での新規就農に対する研修体制については。

**答弁** 建設農林水産部長

就農希望者が経験者の農場で直接研修を受けるトレーナー制度を実施している。

**質問** 担い手への農地の集積・集約化や、新規農業者の研修体制、地域計画策定のための体制整備等、農業分野の課題に対し、どのような農業政策を考えているのか。

**答弁** 市長

今年度法定化された地域計画策定の中で、将来の農地利用の姿について話し合いを行い、国・県などの制度事業をできるだけ活用しながら、集落支援を行うとともに、今後の地域農業を担う若手農業者の確保に努める。

## ICT教育の進捗状況について

**質問** 緊急時における家庭でのオンライン学習の環境整備状況は。

**答弁** 教育長

やむを得ず登校できない児童生徒に対して、かつ通信環境が整っていない家庭でのオンライン学習を実施するための貸出用モバイルルーター等を今年度から整備を進めている。

**質問** 今回導入される校務支援システムでは、特別に支援が必要な児童生徒の情報を共有するような機能は予定されているのか。

**答弁** 教育長

今回の校務支援システムには、特別支援に特化した機能は予定していない。今年度試験的に6校をモデル校に、別の支援システムを試験導入し検証している段階である。



## 带状疱疹ワクチンについて

児玉 不二子

**質問** 令和4年度、伊万里市内における带状疱疹患者数とワクチン接種の医療機関は。

**答弁** 健康福祉部長

法律に規定されていない感染症で、患者数は把握していない。ワクチン接種は市内16の医療機関が実施。

**質問** 他自治体の公費助成の状況は。

**答弁** 健康福祉部長

県内での公費助成はない。

**質問** 伊万里市からの带状疱疹についての情報発信は。

**答弁** 健康福祉部長

積極的な情報発信はない。出前講座、保健師が行う健康教育の中で情報発信に努めていく。

**質問** 伊万里市としての公費助成の考えは。

**答弁** 市長

現時点で带状疱疹ワクチンの費用助成は考えていないが、市民の皆さまの健康づくりを応援していきたい。

## 熱中症対策について

**質問** 伊万里市内の小・中学校での熱中症対策は。

**答弁** 教育部長

普通教室ではエアコンを活用。体育館は扇風機。特別教室は、令和6年度にエアコンを設置。



**質問** 国見台体育施設での熱中

症対策、特に屋内施設におけるエアコンの設置状況及び今後の計画は。

**答弁** 教育部長

屋内施設の体育館、武道館にエアコンの設置なし。両施設、築年数が経過していることから将来的に建替える必要もあるのでその中で設置も検討したい。

**質問** 伊万里市内の小・中学校・国見台体育施設における冷水機の設置状況及び今後の計画は。

**答弁** 教育部長

全ての学校、施設に冷水機の設置なし。給水型冷水機は、非接触型として感染リスクを抑える製品であると認識しているが直ちに設置の考えはない。今後は、他自治体の設置状況なども参考にしながら設置については検討したい。



## 通学路の安全対策について

川添 智徳

**質問** 通学路の安全対策として、市内の通学路でガードレール等、防護柵が設置されていない箇所がまだあり大変危険な状態であるが、それに対する対策は。

**答弁** 建設農林水産部長

今年度はガードレール等設置6路線200m、路面標示等塗り直し19路線14kmを8月末までに実施予定。また今後としては国や県の関係機関と連携し安全整備に取り組んでいきたい。

### 散弾銃射撃場鉛問題について

**質問** 現在の進捗状況について。

**答弁** 教育部長

今年度2月の検討委員会において対策工法の方針が決定。約1億1,500万円の予算を計上。

**質問** 今年度の予算に約1億1,500万円計上されているが、どのような工事の内容で積算が行われているのか。また今回の入札が不調に終わった理由。

**答弁** 教育部長

工事の内容としては工事用道路の整備、汚染土壌除去後陸上及び海上輸送にて秋田県の処理施設に搬送。積算の根拠は汚染土壌の除去費、工事用道路の整備費、秋田県処理施設までの陸上及び海上輸送費、汚染土壌処分費等の合算金額である。また入札不調については積算根拠の検証。辞退した業者から今後聞き取り調査を行う予定。原因が分かり次第改めて入札を行う。

**質問** 今後の計画方針としてこの事態を踏まえたこれからの取り組みについて。

**答弁** 市長

もし予算が現在の分で不足したら補正予算等お願いするかもしれないが、特別交付税上乘せ分に対応出来ると思う。工事期間は今年度10月から約5ヵ月間の予定。今後経過観察をしながら対応を検討していきたい。



## 編集後記

7月2日はイマリビーチの海開き式が執り行われ本格的な夏が始まろうとしています。さて令和5年4月の市議会議員選挙において新たに21人の議員が誕生致しました。

今回は新人議員が8名、そのうち女性議員も2名おり、「人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち伊万里」の実現に向け、議員力の向上で議会活性化に各議員が努めてまいります。本委員会も新しく委員構成され最初の議会だよりとなります。議会改革を進める上で広報活動は進化し続けていくものだと思いますし、広聴にもしっかりと力をいれ、行政に対する意見、要望を収集して市民の皆さまの声を届けていく所存です。

今後も行政と議会がどのように関わり、まちづくりを議論しているのかを市民の皆さまにできるだけわかりやすく、また親しみのある議会だよりをお届けできるよう努めるとともに皆さまからの多様なご意見、ご要望もお待ちしております。

(力武 英一郎)



### 広報広聴委員会

(委員長) 加藤 奈津実  
 (副委員長) 力武 英一郎  
 (委員) 金原 晋作 塚本 博幸  
 木寺 智子 児玉 不二子  
 力武 勝範

[発行・ご意見]

伊万里市議会 伊万里市立花町1355-1  
 TEL 0955-23-2594  
 FAX 0955-22-1277  
 E-mail: gikai@city.imari.lg.jp

[編集] 広報広聴委員会

[印刷] 山口印刷株式会社



# 会派の紹介

## 興隆会



◎前田 邦幸



中山 光義



加藤 奈津実



松尾 伸人



西田 晃一郎

## 真心会



◎坂本 繁憲



山口 常人



井手 勲



前田 久年

## 伊万里みらい会



◎松尾 真介



金原 晋作

## 政研 クラブ



◎力武 勝範

## 伊万里 センタークラブ



◎香月 孝夫

## みどり・みらい 伊万里



◎盛 泰子

## 公明党



◎児玉 不二子

## 碧水会



◎梶山 太

◎は代表者

## 結の会



◎林 博幸

## 幸想会



◎塚本 博幸

## ひだまり



◎木寺 智子

## 伊結会



◎力武 英一郎

## 伊信会



◎川添 智徳